

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービスくりーむうさぎ

公表日 令和7年4月30日

利用児童数 26名

回収数 26名

	チェック項目	はい				どちらとも いえない				いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない				
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	23	2	1						人数が多い日は狭そう。	活動や遊び、児童数をみながら各部屋の振り分け、スペース確保ができるようにしています。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	22	1		3					わからないが人数はたくさんいてると思う。	児童人数、性格、状態、活動プログラムを確認しながら適宜人員配置しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	22	1		3					1日観察してみないとわからない。バリアフリーではない。	活動、遊びの内容によって3つの部屋に分けて対応しています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	25		1						各部屋があつていいと思う。	構造化の4要素を意識し、できるだけ児童にわかりやすい、動きやすい環境設定に心がけています。	
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	23	2		1					工作や玉結びなどでできて良いと思う。お箸の練習もしてほしい。理解はされていると思います。	利用児の性格、行動をみながら、情操教育・学習・ワークシステム等取り組みを進めている。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	24	1		1						5領域支援プログラムを個別支援計画に反映・懇談等を通し、適正な支援ができるように進めています。	
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	24	1		1						活動の様子、懇談等を通し、児童に見合った内容になるように進めています。	
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	21	2		3						上記5領域の個別支援計画に従い、利用児の支援・家族支援・移行支援を状況にともない実施。	
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	24	1		1						上記5領域の個別支援計画に従い、利用児の支援・家族支援・移行支援を実施。	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	22	2		2						変化が苦手、基礎確立する上での固定と合わせて児童状況、利用率によって内容変化させています。	
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	13	1	2	10						適宜可能なタイミングで機会設定。近隣外出での他のこどもたちとの交流、イベント参加は実施。	
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	26									重要事項に沿って説明しています。	
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	25	1								支援内容への具体的説明、状況理解を得るための工夫に努めています。	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10	2	4	10					ペアトレーニングに興味があるのでやってもらいたい。	研修会・保護者会等、保護者の意見を考慮しつつ機会設定の時間、体制整備課題。	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	25	1							1日の様子を聞いたら嬉しい。	共通理解ができるよう、伝達ツールを利用しながら、都度、情報発信、理解が得られるよう進めています。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	24	1		1					仕事を休むことができないので半年～1年に一度の面談でちょうどいい。	日々の連絡と合わせて、定期的開催を目指し、より良い支援、助言ができるよう進めています。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	25		1						送迎、利用時間と状況に合わせて対応いただいています。	日々実践し、振り返り、改善を繰り返し努めています。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	7	2	8	9					あつたら楽しそうだが行ってる暇がない。	父母会・保護者会開催は課題。	
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	23	1		2						送迎時、電話連絡、懇談時などで都度、説明、申し入れ等には適時適切・迅速に対応できるよう、できるだけ実施しています。		

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	24	1	1		上記同様。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	15	2	1	8	月1回のうさぎ通信配布より、自己評価、保護者評価掲載等、必要事項をHP上に掲載し、保護者発信。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	25			1	ブログ等への掲載を含めて、細心の注意を払い、個人情報の取り扱いについては、最重要事項と捉えている。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	21	1		4	BCP（災害・感染症対策）・事故防止マニュアル・緊急対応マニュアル策定済、従業員への説明研修実施。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	21			5	定期的訓練実施（半年に1回）。避難用品準備・見直しは定期的を実施。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	22			4	マニュアル化、配布し支援体制拡充。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	23			3	体調面での事案などでは、身児童様子の確認をしながら保護者に連絡説明。現状、大きな事故発生なし。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	25		1		常に安心できる居場所の確保ができるよう、励みます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	25		1		今後も楽しめるよう、楽しむ力がもてるよう支援に励みます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	24	1	1		お着をマスターしていないのでそれにまつわることをしてもらえたら嬉しい。いつもありがとうございます。とりまく環境、体制を整備しながら気持ちに応えられる支援が少しでもできるよう進めていきたいと思っています。